

令和１０年度クラス割表（見込）

下表は令和６年度のコンテナの状況

少子化の影響により児童生徒数は減少していくが、児童生徒数の減少がクラス数の減少に即、直結する訳ではないことから、令和１０年度のクラス割（コンテナ数）は令和６年度と同様と想定します。

	名称	R 6 現在	R 6 現在								クラス (食缶) 計	コンテナ	コンテナ (ご飯用)	自施設炊飯の場合の 想定カゴ車台数 (最大14クラス / 台)
			1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	支援 学級	職員				
小学校 (7校)	梓川	-	3	3	3	3	3	4	2	1	22	(4)	(2)	2
	鎌田	西部	4	4	5	4	5	4	1	1	28	5	-	2
	波田	-	4	5	4	4	4	4	3	1	29	6	2	3
	田川	東部	2	2	2	2	2	2	1	1	14	2	-	1
	芝沢	西部	2	2	2	2	2	2	1	1	14	2	-	1
	島内	東部	3	4	4	4	4	4	2	1	26	5	-	2
	島立	西部	1	2	1	2	2	2	2	1	13	2	-	1
											124	22		12
中学校 (5校)	梓川	-	4	4	5	-	-	-	1	1	15	3	1	2
	鎌田	西部	5	5	5	-	-	-	1	1	17	3	-	2
	波田	-	4	4	5	-	-	-	1	1	15	3	1	2
	高綱	西部	3	4	3	-	-	-	0	1	11	2	-	1
	松島	東部	5	4	5	-	-	-	0	1	15	3	-	2
											73	14		9
合 計											197	36		21

現状、コンテナ（ご飯用）があるのは、自施設で炊飯している梓川センター・波田センターのみ
ただし、梓川小はコンテナを使用しておらず、パススルーの保管棚に置き、児童が取りに来るため
コンテナに積んだと仮定した数を、コンテナ及びコンテナ（ご飯用）にカッコ書き表記している。